

令和5年度 羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議録

【要旨】

日時 令和5年8月22日（火）19:00～21:40

場所 羽咋市役所 401会議室

○出席者

会長：松田 孝司（羽咋市社会福祉協議会会長）

副会長：伊藤 幸雄（羽咋市町会長連合会会長）

委員：藤本 裕子（羽咋市商工会理事）

杉浦 繁（株式会社ハクイ村田製作所取締役工場長）

出村 太一（日本郵便株式会社羽咋千里浜郵便局長）

另網 哲雄（七尾公共職業安定所羽咋出張所所長）

西 和美（羽咋市教育委員会教育委員）

釜谷 剛（羽咋市校長会瑞穂小学校校長）

寺島 昭（日本政策金融公庫金沢支店支店長）

安田 佳史（株式会社北國新聞社羽咋総局長）

松村 裕子（株式会社中日新聞社北陸本社羽咋通信局長）

西 敏之（西司法書士事務所代表）

番匠 未樹（羽咋市青年団協議会会長）

濱辺 健太（公募委員）

中田 輝子（公募委員）

オブザーバー：辻 智子（北陸財務局総務課長）

笹川 裕樹（石川県中能登総合事務所所長）

アドバイザー：高山 純一（公立小松大学サステイナブルシステム科学研究科教授）

平子 紘平（金城大学総合政策学部准教授、金沢大学 客員准教授）

○欠席者

委員：三井 孝秀（はくい市観光協会会長）

澤田 英三郎（はくい農業協同組合代表理事常務）

木曾 直樹（羽咋市銀行会はくい農業協同組合金融共済部長）

上田 清春（羽咋地域ライフ・サポートセンター羽咋事務局長）

久保 雅裕（羽咋市スポーツ協会会長）

吉野 廣信（公募委員）

市側出席者：山本 裕一（総務部長兼総務課長）
片山 みゆき（市民福祉部長兼健康福祉課長）
和田 美紀（総務部参事兼企画財政課長）
清水 吉朗（農林水産課長）
政氏 祥代（商工観光課長）
森田 庸介（デジタル推進室長）
崎田 智之（地域振興室長）
関軒 友則（企画振興室長）
保志場 元重（総務課参事）
安達 崇（企画財政課参事）
西村 美保（地域整備課長補佐）
見附 敦史（地域振興室地域振興・協働推進係長）
東 幸代（地域振興室主査）
長野 正寛（デジタル推進室主任）
柳橋 瑞保（地域振興室主事）

1. 開会

2. 開会あいさつ（山本総務部長）

本市では令和 2 年度から第 2 期がんばる羽咋創生総合戦略を策定し、人口減少対策を最重点施策として取り組んでまいりました。この会議には小松大学の高山先生、そして金城大学の平子先生にアドバイザーとして参加していただいております、これまでも貴重なご意見を賜っているところであります。また、本日はオブザーバーとして北陸財務局総務課長の辻様、そして石川県中能登総合事務所長の笹川様からも、それぞれご助言等をいただくことになっております。アドバイザーそしてオブザーバーの皆様には改めて感謝を申し上げます次第であります。さて、本日の会議であります、昨今の本市の人口動態の分析結果をご報告させていただくとともに、委員の皆様の事前審査に基づきまして、令和 4 年度の事業の評価及びご意見をいただきたいと思います。なお、この総合戦略につきましては、さらなるデジタル化を推進するため、国からデジタル化を可能な限り盛り込んで改定すべきの方針が示されております。これに伴いまして本市でも今年度中にこの第 2 期の総合戦略を改定する予定であります。後ほどスケジュールについては説明させていただきますが、この戦略改定に伴い、委員の皆様からご意見をいただくために、例年より多く会議に出席していただくこととなりますので、何卒ご理解、ご協力よろしくお願いたします。まだまだ暑い日が続きますが、どうか皆様にはお身体をご自愛賜りますことをお祈り申し上げまして、私からの挨拶といたします。本日はよろしくお願いたします。

3. 委員等の自己紹介、事務局の紹介

(略)

4. 総合戦略会議組織について（正副会長の選任）

昨年度に引き続き、会長に松田孝司委員、副会長に伊藤幸雄委員を選任。

5. 会議の公開及び会議録等の取り扱い等について

(略)

6. 報告事項

(1) 羽咋市の人口推移について

(略)

(2) 第2期総合戦略の効果・検証結果（案）について

(略)

7. 重点審査及び一括審査

(1) ■基本的施策名：(I-1-(4)) 新規就農者等に対する総合的な支援

□重要業績評価指標 (KPI)：①自然栽培・有機・エコ栽培者数

(質疑①) G委員：令和4年度、台湾博を開催しているが、台湾を選択した理由。その効果や成果について教えてほしい。

(回答) 清水農林水産課長：市と包括連携協定を結んでいる日本旅行が台湾とのつながりがあるため、台湾を選択した。

また、現地では、自然栽培米で作った日本酒が人気があり、今後、台湾に進出している日本の食料品会社に能登米や自然栽培米をPRしていく予定である。

(質問②) S委員：自然栽培、有機栽培、エコ栽培者数はどのように把握しているのか。また、一区画でも栽培していれば自然栽培者といえるのか。また、自然栽培をしていない農家が片手間で自然栽培をした場合もカウントされるのか。

(回答) 清水農林水産課長：自然栽培者数はJAはくい「自然栽培部会」の加入者数でカウントしている。

新規で自然栽培に取り組む場合も、部会への加入が必要となり、小さい面積から始めることができるようになっている。

(意見) H委員：豊岡市が取り組んでいる「コウノトリの育んだお米」と題したPRのようにトキの放鳥をきっかけとして、相乗的に農産物のブランド化を図れないか。また、瑞穂小学校の子供たちが「トキの歌」を歌っているように、環境保全とトキの魅力発信の機運が高まっているので、頑張ってください。

(回答) 清水農林水産課長：令和8年度にトキの放鳥を目指しており、現地で収穫されたお米を特別栽培米として学校給食などに提供する予定をしている。その特別栽培米の栽培方法として5割の農薬削減を提言しており、エコに近い栽培方法となるため推進していきたい。

【採決結果】総合評価：○

(2) ■基本的施策名：(Ⅱ-1- (1)) 観光資源の魅力を活用した官民・広域連携による誘客の促進

□重要業績評価指標 (KPI)：①千里浜、柴垣海岸でのイベント参加者数

(質疑①) L委員：令和4年度参加者12,058人実績の千里浜、柴垣それぞれのイベントの内訳について教えてほしい

(回答) 政氏商工観光課長：すべてSSTRの実績である。

(質疑②) L委員：指標に柴垣海岸を挙げる意味は何か。新たにイベントを開催する予定があるのか。

(回答) 政氏商工観光課長：今後、柴垣海岸のイベントを開催していきたいと考えている。

(意見①) P委員：今年のSSTRについて、おもてなしも重要だと思うが、出展ブースや地域のお店にお金が落ちる仕組みとのバランスを考えてほしい。

(回答) 政氏商工観光課長：今後検討していきたい。

(質疑③) E委員：今後アウトドアを主軸に誘致をはかっていくとのことだが、その点についての KPI はどのように設定するのか。

(回答) 政氏商工観光課長：アウトドア関連の数値をどのように把握するか、今後検証し検討していきたい。

(質疑④) M委員：今後の取り組み事項に e スポーツとあったが、指標と関係があるのか。

(回答) 政氏商工観光課長：市で行う体験型観光の 1 つとして挙げたものである。

(質疑⑤) M委員：そのような数値を盛り込むと、KPI の数値としては、あやふやになってしまうのでは。

(回答) 崎田地域振興室長：現在は観光の主流が変わってきており、見る観光から体験型観光へと移行してきているため、KPI 設定時では千里浜の SSTR、柴垣のサップ体験などを見越し、数値を定めていたが、次回の計画検討時に見直しを行っていく予定である。

(意見②) H委員：SSTR のメインイベント日の翌日シンポジウムの参加者が少なく残念だった。関連イベントの PR をもっと行っていただきたい。

(回答) 政氏商工観光課長：今後周知 PR を実践していく。

(意見) O委員：SSTR と柴垣のイベントの規模が違いすぎる。今後柴垣のイベントにも力を入れることによって、羽咋市全体の関係人口交流人口を増やしていくことができるのではないか。

(応答) 政氏商工観光課長：柴垣海岸に関しても情報発信していきたい。

【採決結果】総合評価：◎

(3) ■基本的施策名：(Ⅲ-4- (1)) 総合的な学習能力の向上と支援

□重要業績評価指標（KPI）：小学校6年生の国語、算数の全国学力・
学習状況調査

（質疑①）S委員：「HAKUISM」は教員間でどのように活用しているのか。冊子やフォルダに実践事例をまとめ、それを閲覧し授業に活用しているのか。

（応答）関軒教育委員会担当課長：「ICT活用指導指針」「学校教育の指導指針」などの冊子をもとに授業を行っている。その他各学校にてICTを使用した授業風景を録画し、共有できる取り組みを行っている。

【採決結果】総合評価：◎

（4）■基本的施策名：（IV-3-（2））住宅の安全強化の推進

□重要業績評価指標（KPI）：①老朽空き家の応急処置等による改善件数

【採決結果】総合評価：◎

（5）■基本的施策名：（V-1-（2））地域活力の維持と協働のまちづくりの推進

□重要業績評価指標（KPI）：②若者、小中学生による羽咋創生事業の提案数

【採決結果】総合評価：◎

8. 一括審査

資料1 評価（案）のとおり、評価を決定。

9. 講評

(1) オブザーバー：北陸財務局総務課 辻 智子

人口減少対策については、全国的にも難しい課題で国としても模索している状態。市としてどうにかしたいとの思いが強く色んな策を講じようと努力しているのがよくわかるが、現戦略を見させていただいたが、人口減少対策が目的であることがわかりにくい。そのため、目的や目標をもう少し整理する必要があるのではないか。また、人口減少の目標値を非常に高く設定しているのではないか。次回戦略の見直しをするということなので、負担にならない目標を掲げる必要があるの考える。

(2) オブザーバー：石川県中能登総合事務所 笹川 裕樹 所長

具体的な施策は基本目標であるが、その目標に対して KPI が非常に細かいのでは。

例えば「カップル成約件数」であるとか「三世帯住宅の新增築リフォーム件」などとても細かい。他市の例にはなるが、基本目標の中に中項目がありその KPI は「合計特殊出生率」を挙げているようなものも見受けられる。これまでの実績もあるため、一概に全て否定はできないが、KPI をあまりにも細かくしすぎているため議論の論点がぼやけてしまっているのではないか。

また、基本目標3の KPI に「乳幼児の父親の育児協力率」とあるが、これは時代にそぐわないのではないか。

その他、「総合的な学習能力の向上と支援」の KPI が「全国学力調査のポイント数」であることは果たして適切か。

これらの KPI に関して、次回の設定時に見直していく必要があるのでは。

また、若い女性が市外へ転出してしまうことは非常に問題だと思う。市町別の特殊出生率や出産適齢期の女性の人口が経年的に見てどうか。などを盛り込み KPI の設定をしていただきたい。

(3) アドバイザー：公立小松大学サステイナブルシステム科学研究科

高山 純一教授

これまでの総合戦略を振り返ると、1期の目玉は「道の駅のと千里浜」であり、非常に成功している。2期では駅周辺の交流拠点の整備ということで、来年度完成予定とのこと。この2つの拠点が成功することによって、羽咋市の象徴になるのではないかと思われる。

人口に関しては、日本人の減少は抑えられない中、外国人の方を踏まえた戦略を立てていく必要があるのではないかと。

また、大学等で市外に出た人たちが、再度戻ってきたいと思う地域愛を深める教育や、戻ってきた若者が「働きたい」と思える仕事が必要だと考える。

交流人口・関係人口の増加に注力することも方法の1つであり、SSTRは成功事例である。より良くするためには、SSTRを羽咋市の魅力や強みと組み合わせることで、羽咋市内への流れを作る工夫をする必要があるのではないかと。

自然栽培に関しては、羽咋市内だけで完結するのは難しいのではないかと推察する。より発展させるには県立農業大学とコラボや研究を行うなど、色々工夫ができるかと考える。

(3) アドバイザー：金城大学総合政策学部 平子 紘平 准助教

SSTRで羽咋市に訪れた人たちが、いかに羽咋市に貢献したか、具体的な数字で示すことができたらいいいのでは。また、チップスやポン菓子がかさばるので、ライダーには不向き。小さく重量があり高価なお土産の商品開発をするといいいのではないかと。

一方で、妙成寺に関しては、国宝を目指すうえで認知度をより上げていく必要がある。宿泊数に関して、ホテルが誘致されれば外国人誘客のKPIも伸びてくると考えている。もっと、PRすれば周知度もあがるのではないかと。

若い女性の減少はやはり問題。ここ数年多く聞く話が、高学歴の女性がテレワーク可能な環境になり、家族を連れてUターンしてくるとのこと。この層をターゲットにしても良いのでは。

また、母親世代の満足度が高ければ子ども世代の定住やUターンにつながるのではないかと。満足度が上がる環境づくりが大切と思われる。

一方で宅地分譲・造成はダイレクトに人口に反映されるので、着実にやっていく必要があると考える。

最後にKPIについては、やはり、細かすぎるため、目的に必要なものに絞るなど工夫する必要があるのではないかと。

10. その他（事務連絡等）

（1）効果検証の報告書を事務局で取りまとめて、9月中に会長と副会長を中心に岸市長へ戦略会議として提言して頂く場を設ける。

（2）次回、デジタル版総合戦略を策定のための会議を11月に開催する予定であり、オンラインではなく、集合での開催となる。

以上2点についての事務連絡を行った。